



2021年4月30日

各 位

会社名 株式会社メルカリ
 代表者名 代表取締役 CEO 山田 進太郎
 (コード番号：4385 東証マザーズ)
 問合せ先 上級執行役員 SVP Corporate 横田 淳
 TEL. 03-6804-6907

2021年6月期通期業績予想のお知らせ

2021年6月期の通期業績について非開示としておりましたが、このたび、2021年6月期通期の業績の予想がたち、それに基づき売上高が前期実績と比較して10%以上、営業利益以下が30%以上乖離する見通しとなりましたので、お知らせいたします。

1. 2021年6月期通期連結業績予想 (2020年7月1日～2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前期実績 (2020年6月期)	百万円 76,275	百万円 △19,308	百万円 △19,391	百万円 △22,772
今回発表予想	103,000～ 106,000	△1,500～ 1,500	△1,600～ 1,400	0～ 2,100
増減額	+26,725～ +29,725	+17,808～ +20,808	+17,791～ +20,791	+22,772～ +24,872
増減率(%)	+35.0%～ +39.0%	-	-	-

【連結業績の通期見通し】

連結売上高は、メルカリ JP の安定的かつ持続的な成長、メルカリ US の認知度向上等に伴う新規ユーザの増加や決済手数料収入の導入、メルペイの与信事業を中心とした成長によって、前期比で通期売上高が増加する見通しです。

連結営業利益及び連結経常利益は、売上高が増加する見通しであることに加え、上半期において広告宣伝費を中心に投資を抑制していたことや各事業の収益基盤の向上により、前期比で通期の赤字が縮小する見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益については、上記による利益の改善の他、主に投資有価証券売却益等により6,942百万円計上した結果、前期比で通期の赤字が縮小する見通しです。

2. 2021年6月期通期個別業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前期実績 (2020年6月期)	百万円 58,744	百万円 11,655	百万円 11,550	百万円 △28,014
今回発表予想	73,500～ 76,500	12,500～ 15,500	12,400～ 15,400	6,000～ 8,000
増減額	+14,756～ +17,756	+845～ +3,845	+850～ +3,850	+34,014～ +36,014
増減率(%)	% +25.1～ +30.2	% +7.3～ +33.0	% +7.4～ +33.3	% -

【単体業績の通期見通し】

単体売上高は主に出品強化と新規ユーザ獲得が順調に伸長することで、前期比で通期売上高が増加する見通しです。

単体営業利益及び経常利益については、下半期において持続的な成長と将来利益の最大化のために投資を再開した一方で、投資を上回り売上高が増加する見通しのため、前期比で通期の黒字が増加する見通しです。

単体当期純利益については、上記による利益の増加に加え、本日別途開示しております「個別業績における特別損失の計上に関するお知らせ」の通り、当社が保有する関係会社株式について減損処理を実施し、関係会社株式評価損7,822百万円を特別損失として計上したものの、前期は関係会社株式評価損として36,935百万円を計上していたため、前期比で通期の赤字が縮小する見通しです。なお、上記の特別損失は、連結決算上消去されるため、連結損益への影響はありません。

以上